

尾張西三河森林計画区の概要

1 計画区の概要

- (1) 尾張西三河森林計画区は、愛知県西部を南下する矢作川、庄内川、木曾川の流域344千ha（愛知県面積の67%）で、所在する森林の面積は109千haを対象としており、うち国有林野は3千ha。
- (2) 当計画区の国有林野は、矢作川の源流部や都市近郊などに点在。古くからアカマツ・クロマツの植栽が進み、国有林野の8割が人工林。また、山地災害防止としての役割や身近な都市近郊の森林として緑とのふれあいの場、生活環境保全の発揮等の役割への期待が大。
- (3) 森林構成は、人工林が80%、天然林が20%、人工林の樹種割合はヒノキが47%、アカマツが16%。



2 事業量

計画期間における伐採、更新、保育、林道、治山の事業総量は以下のとおりです。

①伐採総量 (単位：m³)

区分	本計画	前計画
主伐	6,227	—
間伐	16,401	13,232
臨伐	3,572	2,768
計	26,200	16,000

②更新総量 (単位：ha)

区分	本計画	前計画
人工造林	12	—
天然更新	—	—
計	12	—

③保育総量 (単位：ha)

区分	本計画	前計画
下刈	18	24
つる切	14	22
除伐	24	49
枝打	—	19

④林道の開設及び改良の総量

区分	本計画	前計画
開設	路線数	1
	総延長(m)	2,200
改良	箇所数	26
	延長量(m)	1,540

⑤治山事業

区分	本計画	前計画
保全施設	山腹工	3
	溪間工	6
	その他	1
保安林の整備	169	
保育	322	

※ 用語については、中部森林管理局ホームページ（森林計画等の用語の解説）を参照して下さい。